



新年明けましておめでとうございます。

平成 23 年 1 月 1 日

[兎年に因みスピード感を持って]

水煙会会長 長崎駿二郎

水煙会の会員各位に於かれましては、本年も又新しい気持ちでお正月をお迎えになられた事と、拝察申し上げます。

昨年4月水煙会の会長職に着任して9か月が経過いたしました。最初の3ヶ月は過去5年程のデータを分析して、問題点の抽出に力点をおきました。そして、その結果は、会員、会費、会報、名簿、基金、ホームページの6項目に分けて整理し、会報やホームページに記載させて戴きました通りです。

そして次の3か月にはそれらの問題点等を、役員や幹事の皆様に投げかけ、「どうしてこういう状況になってしまったのだろうか？」という原因を探ると共に、「どうすればこれらの問題を解決出来るのだろうか？」という対策等を検討いたしました。

そして年末にかけての3ヶ月は「それではまず何から手を付けていこうか？」と対策案の絞り込みを行いました。何と言っても、水煙会が皆様の意識なの中から段々遠ざかっていることが明白になって来ておりますので、まずは「水煙会の存在」を改めて認識して戴くことからスタートすべきであると結論に至りました。よって、新しいコミュニケーション・ツールであるホームページの立上げとその活用、それと水煙会総会に皆様が参加したくなるような魅力付けを行っていく、この二点に注力する事といたしました。

ホームページの使用は、まだ色々と問題がある事は理解しておりますが、やはり電子媒体ですのでスピードがあり、皆様が色々な情報を投稿できる双方向機能や、会報、論文等のバックナンバー保管機能、といった優れた機能があります。我々が使いこな

せるかどうかの心配がない訳でもありませんが、この多機能なコミュニケーション・ツールを利用して、特に若い方々への働きかけと世代間を超えた交流を促進させたいと考えております。

それと共に、やはりお互いに人間どうしであり同窓の好みでもありますので、互いの顔が見えない交流は、どうも今一つ気が進みません。何とか顔を合わせる機会を増やさないと、結果いくら電子媒体を活用しても、皆様が有用性を感じて戴けるような優れた同窓会環境を創り上げる事は出来ないと考えております。そこで本来なら全員が出席戴ける「総会」を、もっと魅力あるものにしようと言う事になりました。

水煙会の抱えている諸問題は、この二つの対策案が上手くいけば、まずは解決の為にスタート台に辿り着けたのではないかと考えております。そして、このゴールはかなり遠いところにあると考えております。

本年は[兎年]です。まずは「兎に因んでスタートダッシュで行きたい」つまり引き続きスピード感を持って諸問題の解決に当たりたいと決意しております。

どうぞ会員各位の皆様の温かいご支援とご協力を、本年も戴けますように宜しくお願い致します。

追伸;平成 23 年 3 月 19 日(土)午後 2 時頃 於;横浜国大にて(詳細は後日連絡します)

本年度の「水煙会総会」を予定しております。是非ご参加ください。